

第3回検討会議の主な意見・指摘事項

資料1

主な意見・指摘事項	対応(案)
① ソフト対策の考え方として、地域住民の方に整備の効果そのものを理解してもらうことも大切である。	➤ ご指摘のとおり、ハード整備にあたっては、その効果も含め、必要性、重要性について、関係者が連携のもと地域の方々に丁寧な説明を進めて参ります。
② 整備手順の検討は海岸保全施設の延長が長いと難しいと思われるが、中長期的に地域経済が活かされるためにはどのような手順が必要かという視点も含め議論いただけたらと思う。	➤ 今回、地域の概況・重要度の整理を行いました。今後、地域の重要度を基に整備手順(地域の優先度)を検討していくと伴に、整備段階の浸水状況などについても検討して参ります。
③ ソフト対策を講じるうえで、ハード対策を進めることによって、浸水範囲などが、どのように変化するのか明確にしながら進めていくことが重要。	
④ 地震については液状化もあるが、高知においては地殻沈降が大きい。高知県の長期浸水の会議などのシナリオとの整合性を含めて、沈下により護岸の機能不全にならないかチェックを行っていただきたい。	➤ 可能な限り既往の土質柱状図、試験データ等の土質データを収集し、地盤特性を整理のうえ、各施設の耐震照査を実施しております。 ➤ また、耐震照査結果を基に施設の変位量に応じた対策断面を検討しております。
⑤ 各護岸の地盤条件、ボーリングデータ等の基礎データ収集については、リスクがどこいったところにあるのか、今の現状をしっかりと理解し整理をお願いします。	
⑥ 高潮と洪水の時間関係でピークのずれによる個々の影響について、考察ができるようタイムラグを考慮しシミュレーションをお願いしたい。	➤ 高潮と洪水の発生時間を変化させてシミュレーションを実施し、ピーク時刻を変化させても、河川内の水位に関して、対策案と基本ケースの差は同程度となり、ピーク時刻差による変化は小さいことを確認しました。
⑦ 数値による操船シミュレーションだけではなく、操船シミュレーターについても実施する方が望ましい。	➤ 操船シミュレーターについては、今後詳細計画が決まり次第、実施について検討していきたいと思っております。
⑧ 浦戸湾の長期的な湾内環境の変化について出来る限り資料を収集し、検討を進めて欲しい。	➤ 湾内の環境変化について公共用水域の水質測定結果など資料を収集のうえ、シミュレーションを実施しております。
⑨ 検討項目の中で、水質シミュレーションは3次元の計算が必要となり最も難しいと考える。現状との再現について難しいが、ある程度の信頼度で予測が出来るか検証も含め実施していただきたい。	➤ 再現計算について精度を高め、再現性を検証したうえ、将来予測を実施しております。